

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	職員派遣事業	所管	総合政策部 職員課
			TEL 2998-9048

事業の目的 (何の為に 行うか)	国、県、先進的な他団体等における実務研修により職員個人の能力の向上を目指す。また、その経験を当市の組織風土の活性化や業務の効率化に繋げる。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	全職員(消防職員を除く)	対象とした数	2,334	人
		実際に 利用した数	5	人

活動の内容	(何を したか)	1 交流団体の検討、選定 2 派遣期間、実務研修業務等について相手団体と協議、協定締結 3 派遣する職員の選任 4 派遣の発令							
		活動実績	項目名	当市から派遣された職員数	5 ----- 単位 人	項目名	当市に派遣を受け入れた職員数	1 ----- 単位 人	項目名

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	0	0	1,503	4.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	派遣経験職員数	派遣研修終了職員実数	33 ----- 単位 人	30 ----- 単位 人	110.0 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []	終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	010700	TEL	2998-9048
事業コード	職員派遣事業	総合政策部	職員課			
010706		グループ	人事研修担当			
開始年度		昭和 63 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	地方公務員法、地方自治法、埼玉県市町村職員実務研修要綱等						
	関連・類似事業	職員研修事業、埼玉県市町村税務職員実務研修						
	総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向け	施策	3節 行政運営	中柱	2 組織の活性化	小柱
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 35 位		・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
事業開始の背景		土地行政、道路行政等における広域的な行政課題に対し、県、市町村が共同して取り組む必要性が高まり、各自治体の人材の活用と育成が求められていた。また、市町村への権限委譲による新しい事務に対応するための能力習得に有効であった。						

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)														
	国、県、先進的な他団体等における実務研修により職員個人の能力の向上を目指す。また、その経験を当市の組織風土の活性化や業務の効率化に繋げる。														
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方											
	全職員(消防職員を除く)			当該年度派遣職員人数											
対象数	単位	平成 18 年度	2,358	人	平成 19 年度	2,334	人	利用数	単位	平成 18 年度	7	人	平成 19 年度	5	人
事業の具体的な内容及び実施方法															
1 交流団体の検討、選定 2 派遣期間、実務研修業務等について相手団体と協議、協定締結 3 派遣する職員の選任 4 派遣の発令															

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点			
派遣職員全体の連絡調整を密にし、派遣中の勤務条件等の課題を検討するため、実務研修派遣職員の連絡調整会議に、実務研修派遣以外の派遣職員も出席対象とした。				

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		0	0	0	
	決算(見込み含む)		0	0		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.16 人	1,472	0.16 人	1,503
	公債費					
	事業費合計		1,472	1,503		
	財源内訳	一般財源	1,472	1,503	0	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
市民一人当たり(単位:円)			4.4	4.4		
利用数一単位あたり(単位:円)			210,285.7	300,608.0		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	当市から派遣された職員数	人数	7	5	3	
		当市に派遣を受け入れた職員数	人数	1	1	1	
		交流団体数	団体数	5	4	3	
成果分析	目標値		人	29	33	36	40
	実績			28	30		
	%	達成率		103.6	110.0		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	厳しい定数管理の下、派遣元においては実質減員となる派遣研修に対し、所属の理解を得るのが難しくなっている。派遣中に発生する経費(旅費等)の負担について、予算の執行が困難となるケースが想定される。		
一次評価	今期目標項目(何を)	H21.3.31に現在派遣中の職員が派遣期間満了を迎える団体への次期派遣の実施について検討する。	達成水準(どこまで)	慣例とし実施するのではなく、真に実施の必要性を検討したうえで継続について判断し、場合によっては研修派遣を休止する
	平成20年度における目標設定	派遣中の経費の負担について関係課と協議する。	平成21年度における目標設定	派遣中の経費の一部について、必要に応じて、実務研修内容と密接な関係のある所属の予算での対応を検討する。
	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	行政課題の多様化や広域化の中で、他団体での実務研修を積む職員派遣の意義と効果は引き続き期待されているが、派遣に伴う実質減員による派遣元所属の業務加重などの負担部分とを比較したうえで、調整が可能な範囲内での実施継続に配慮する必要がある。			
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	職員担当 平野 遼彦	

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
一次評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
施策の方向				